

社会福祉学科

社会福祉コース

1 年生

(講義)		科目名:法学概論		講師: 森奈祐	
科目概要・目標	社会福祉の専門家には、憲法第25条に定める生存権の保障を実現するため、様々な社会保障、社会福祉諸制度やそれにかかわる行政機関への手続きのための知識が必要である。そのため、憲法、民法、行政法の基礎知識を習得することは必要である。 この科目では、それらの学修に先立っていわゆる法学入門に相当する法や法学一般について学び、研究する。				
教科書		プリント配布			
提出課題	レポート設題1	基本的人権の尊重について述べよ			
	学修のポイント1	教育を受ける権利と義務について			
	学修のポイント2	親権について			
	学修のポイント3	契約の自由について			
	学修のポイント4	罪刑法定主義について			
	学修のポイント5	法の種類について			
	学修のポイント6	法の段階構造について			
期末試験		後日発表			
回数		授業内容			
第1回		オリエンテーション、法と道徳、法の種類、法の段階構造			
第2回		近代市民法原理について			
第3回		契約の自由について			
第4回		憲法について			
第5回		基本的人権の尊重について①			
第6回		基本的人権の尊重について②			
第7回		刑法について			
第8回		罪刑法定主義について			
第9回		民法について①(総則・物権)			
第10回		民法について②(債権)			
第11回		親権について			
第12回		親族・相続について			
第13回		行政法について			
第14回		労働法について			
第15回		期末試験			
第16回		科目修了試験			
成績評価	出席率	30点	75%以上の出席を必須とする。		
	期末試験	30点			
	授業内評価	40点	授業態度、グループワーク等への参加、授業中の発言等・積極性、提出物期限を評価する。		
備考		授業中の居眠り、スマートフォン等の無断使用、授業内容に関係ない行為、その他授業に臨む上で不適切な態度が見受けられた場合は減点評価とします。			

(実技)		科目名:情報処理基礎演習Ⅰ		講師:高橋直子	
科目概要・目標		Wordを使って、文字入力の練習と いろいろな文書作成およびグラフィカルな文書を作成できるようにする。			
教科書		なし(毎回授業で使用するプリントを配布する)			
期末試験		実技試験(1枚の文書を作成し保存する。)			
回数		授業内容			
第1回		文字の入力と簡単な文書を作成			
第2回		定型文書の作成			
第3回		レポートや報告書の作成			
第4回		復習			
第5回		表作成の練習			
第6回		表のある文書の作成			
第7回		複雑な表のある文書の作成			
第8回		画像などを利用した文書の作成			
第9回		図形などを利用した文書の作成			
第10回		簡単な地図のある文書の作成			
第11回		SmartArtなどを利用した文書の作成			
第12回		縦書き文書の作成			
第13回		横置き文書の作成			
第14回		復習			
第15回		復習(期末試験対策)			
第16回		期末試験			
成績評価	出席率	30点	75%以上の出席を必須とする。		
	期末試験	40点			
	授業内評価	30点	毎回授業で行う課題作成などを含めた授業態度		
備考		飲食厳禁、私語厳禁、携帯電話などの使用禁止			

(講義)	科目名:福祉と教育		講師: 山田哲史
科目概要・目標	東京福祉大学は「理論的・科学的能力と実践的能力を統合し、柔軟な思考力と問題発見・解決能力のある人材を育成する」ことを建学の理念としている。この精神の下、学生が主体となった教育の基礎である「読み、書き」を鍛錬する。福祉、教育、保育、心理、医療などを学ぶ基礎的な力を身に付けることを目指すとともに、社会における様々な課題に理解を深め、現代で新たに求められている能力とは何かを探求する。本講義では現代社会の諸問題を題材として「読み、書き」のトレーニングおよび教科書の「ワーク」を活用した考察を行う。「ワーク」でグループ活動が設定されている際は自身で調べ、考察し、文章にまとめる。		
教科書		必要箇所を授業時に配付します。(『基礎ゼミ 社会福祉学』世界思想社)	
提出課題	レポート設題1	教科書と「ワーク」を通して学んだこと、及び社会福祉を学ぶことの意義について述べよ。	
	学修のポイント1	社会的排除について	
	学修のポイント2	子どもの貧困について	
	学修のポイント3	子どもの保護について	
	学修のポイント4	多文化共生社会について	
	学修のポイント5	コンパクトシティについて	
	学修のポイント6	性的マイノリティについて	
期末試験		(授業時に指示します。)	
回数		授業内容	
第1回		「福祉と教育」を学ぶ意義について	
第2回		社会的排除について	
第3回		「生きづらさ」について	
第4回		子どもの貧困について	
第5回		周縁化集落について	
第6回		コンパクトシティについて	
第7回		社会的養護について	
第8回		子どもの保護について	
第9回		性的マイノリティについて	
第10回		優生思想について	
第11回		人身取引について	
第12回		認知症について	
第13回		「福祉と教育」をめぐって(1)	
第14回		「福祉と教育」をめぐって(2)	
第15回		期末試験	
第16回		科目終了試験	
成績評価	出席率	30点	75%以上の出席を必須とする。
	期末試験	30点	持込み許可物件:指定の教科書、自筆のノート、授業時に配布のプリント
	授業内評価	20点	授業中態度:携帯、居眠り、私語、飲食は厳禁
		20点	課題提出状況
備考		教育の効果を高めるためにも、授業には集中力を持続して積極的に取り組むようにしてください。授業中の携帯電話の使用、居眠り、飲食や私語は禁止します。これらのルールを守ることができない学生に対しては不合格とすることがありますので注意してください。	

(実技)		科目名:フィールドワークⅠ		講師: 田本佳寿美・仁井田和也	
科目概要・目標	社会福祉学を学ぶために、当科目では福祉とはどのようなものかのイメージをもてるようになること目的とする。まず、保健・医療・福祉の概要を学び、福祉の位置づけを確認する。次に、多様な考え方や形があり、多くの専門職の活躍からも成り立つ福祉とはどのようなものかを、自ら情報を得ようとし、グループワークを通して多角的な視点でそれらをまとめることとする。さらに、フィールドワーク(外部研修)を通して、実践の現場に触れる機会を持ち、講義などで学んだものにイメージを付けていくことを目指す。				
教科書	配布資料を基に学習を進める				
期末試験	後日連絡				
回数	授業内容				
第1回	オリエンテーション、グループワーク				
第2回	認知症サポーター養成講座				
第3回	精神保健福祉士、精神障害について				
第4回	スクールカウンセラーについて				
第5回	児童発達支援について				
第6回	障害者就労移行支援について				
第7回	就労移行支援 施設見学 2グループに分ける				
第8回	たこ焼きパーティの企画、デイサービスについて				
第9回	たこ焼きパーティ(デイサービス楽人千種 見学)				
第10回	たこ焼きパーティ(デイサービス楽人千種 見学)				
第11回	たこ焼きパーティ(デイサービス楽人千種 見学)				
第12回	高齢者				
第13回	一般企業				
第14回	児童				
第15回	高齢者				
第16回	期末試験				
成績評価	出席率	30点	75%以上の出席を必須とする。		
	期末試験	30点			
	授業内評価	40点	授業態度、グループワーク等への参加・発言・積極性、提出物の内容、提出期限を評価		
備考	授業中の居眠り、スマートフォン等の無断使用、授業内容に関係ない行為、その他授業に臨む上で不適切な態度が見受けられた場合は減点評価とします。				

(講義)	科目名:アメリカの文化と言語 I		講師: 米田尚美
科目概要・目標	これからの国際社会に対応していくためには世界的公用語である英語でのコミュニケーション能力が必要である。高校までの暗記を中心とした受験英語とは違い、表現力を重視した、読む・書く・聞く・話す、の四技能を養い、実用的な英語を使いこなすためには、日本語とは異なる英語の言語学的特徴(発音・文法・語法等)を理解することが大切である。また、英語という言葉の背景にある、主にアメリカを中心とした英語圏の文化の理解にも重点を置く。		
教科書	ピーター・セラフィン、根間弘海 “Twenty American Heroes” 三修社、2017年		
提出課題	設題	8章「Martin Luther King, Jr.」について日本語で要約せよ。さらに、内容についてあなたの考えを述べよ。	
		＜ポイント＞公民権運動とは1950年代のアメリカにおいて、黒人を中心に始められた人種差別撤廃運動である。Martin Luther King, Jr.はアメリカにおける人種差別において、公民権運動の指導者としてどのように貢献したか。また、彼の掲げた「非暴力」そして、不朽の名演説「私には夢がある(I Have A Dream)」は、人々にどのようなメッセージを投げかけたのか。Martin Luther King, Jr.の思想が人種差別思想や米国憲法修正に与えた影響について考察すること。	
	学修のポイント1	英文を日本語で要約せよ。さらに、Elvis Presleyに対するあなたの印象を述べよ。 ＜ポイント＞当時のアメリカの社会状況をよく理解した上で、音楽史上におけるプレスリーのロックン・ロールの位置づけを考察する。また、あまりに早い最期を遂げたプレスリーの「有名人の孤独」についても考える。	
	学修のポイント2	英文を日本語で要約せよ。さらに、Steven Spielbergの作品の一つ挙げてあなたの印象を述べよ。 ＜ポイント＞スピルバーグの人となり、彼の映画製作に向かう姿勢を理解し、具体的に説明できるよう理解を深める。単純な映画の感想文に陥らないようにすること。	
	学修のポイント3	英文を日本語で要約せよ。さらに、Gatesに対するあなたの印象を述べよ。 ＜ポイント＞現在のIT社会を築き上げた功労者であり、また新しい問題点を作り出した人物でもある。パソコンとインターネットの普及から派生する諸問題に対する解決策、対応策を考えるとよい。	
期末試験	後日発表		
回数	授業内容		授業目標
第1回	オリエンテーション		当時のアメリカの時代背景を理解した上でElvis Presleyの生い立ちや音楽性を理解する。
第2回	学修のポイント 1 作成		
第3回	Elvis Presleyについて		
第4回	レポート作成指導 キング牧師について		黒人差別が起こった背景を理解した上で公民権運動(人種差別撤廃運動)について理解する。“I Have A Dream”のスピーチにおいて、キング牧師が何を伝えたかったのかを理解する。
第5回			
第6回			
第7回	学修のポイント 2 作成 Steven Spielbergについて		Steven Spielbergの作品に描かれている“Childlike”とは何かを理解する。
第8回			
第9回			
第10回	学修のポイント 3 Bill Gatesについて		Bill Gatesの功績をふまえた上で、メディアリテラシーについても理解を深める。
第11回			
第12回			
第13回	まとめ		
第14回	期末試験対策		
第15回	期末試験		
第16回	科目終了試験		
成績評価	30点	75%以上の出席を必須とする。	
	30点	持込み不可(教科書の内容理解を問う問題を中心とする予定)	
	20点	評価ポイント:提出物(下書きレポート・清書レポート・学修のポイント2本)の内容・提出期限を守れたか ※遅れた場合は減点	
	20点	評価ポイント:授業態度・忘れ物・授業前課題・授業内課題	
備考	本授業は英文読解とその要約が中心です。授業についていくためにも各自予習復習を行うこと。		

(講義)		科目名:社会福祉入門		講師: 小澤登生男	
科目概要・目標	少子高齢化の進むわが国は、ますます福祉重視型の社会をめざしている。これから社会福祉に関わる仕事をめざす学生のために、福祉の基本や福祉に関連する職業にはどのようなものがあるのか、社会的に見て福祉とは何か、そして、福祉の職業に従事するためにはどのような資格があるのか、各々の福祉領域で必要不可欠な能力とは何か等を学修する。また同時に、これまでの福祉理念の変遷を概観し、急速に変化していく現代社会における、これからの福祉のあり方についても考える。				
教科書		立花直樹・波田埜英治・家高将明・中典子 編著 『最新・はじめて学ぶ社会福祉 4 社会福祉 原理と政策』ミネルヴァ書房			
提出課題	レポート設題 1	福祉サービスの利用者を支えるためのしくみが定められた背景とそのしくみの概要について述べてよ。			
	学修のポイント①	わが国の社会福祉法制について			
	学修のポイント②	わが国の社会保障制度の体系について			
	学修のポイント③	わが国の社会福祉行財政について			
	学修のポイント④	社会福祉を支える原理について			
	学修のポイント⑤	わが国における貧困をめぐる現状について			
	学修のポイント⑥	地域福祉の意義とその担い手について			
期末試験		後日発表			
回数		授業内容			
第1回		学修のポイント①わが国の社会福祉法制について			
第2回		学修のポイント⑤わが国における貧困をめぐる現状について			
第3回		学修のポイント⑥地域福祉の意義とその担い手について			
第4回		福祉サービスの利用者を支えるためのしくみ①			
第5回		福祉サービスの利用者を支えるためのしくみ②			
第6回		福祉サービスの利用者を支えるためのしくみ③			
第7回		学修のポイント③わが国の社会福祉行財政について			
第8回		学修のポイント④社会福祉を支える原理について			
第9回		学修のポイント②わが国における社会保障制度の体系について			
第10回		わが国の高齢者福祉について①			
第11回		わが国の高齢者福祉について②			
第12回		バリアフリーとユニバーサルデザイン①			
第13回		バリアフリーとユニバーサルデザイン②			
第14回		期末試験対策			
第15回		期末試験			
第16回		科目終了試験			
成績評価	出席率	30点	75%以上の出席を必須とする。		
	期末試験	20点			
	授業内評価	30点	課題提出期限が遅れたら減点 1回5点		
		20点	積極的な授業参加・態度		
備考		学びの場です。遅刻・欠席をせずに主体的に学修してください。			

(講義)		科目名： 心理学概論		講師： 富田健太	
科目概要・目標	現代社会が抱えるさまざまな問題と心理学の観点からアプローチできるようここでは心理学全体を見渡すことを目的とする。そこで、心理学とは何か、から始まり、心理学分野を「心の仕組み」、「心の問題を紐解く」、「心のケアと支援」、という3つの大きな領域から考え、心理学の成り立ち、人の心の基本的な仕組み及び働きについて学修していく。本科目を学ぶことで、心理学とはどのような学問か、その体系を知ることができ、かつ考え方が理解できる。				
教科書		一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集 『最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座【共通科目】2 心理学と心理的支援』中央法規			
提出課題	レポート設題1	人格の諸理論について記述する			
	学修のポイント1	人格の諸理論について			
	学修のポイント2	人間の感覚・知覚・認知の特質について			
	学修のポイント3	人間の発達課題について			
	学修のポイント4	心理学的アセスメント(見立て)について			
	学修のポイント5	対人関係の発展について			
	学修のポイント6	心理療法について			
期末試験		後日発表			
回数		授業内容			
第1回		オリエンテーション/PI 人格の諸理論について			
第2回		P1 人格の諸理論について			
第3回		P1 人格の諸理論について 作成			
第4回		P3 人間の発達課題について			
第5回		P3 人間の発達課題について			
第6回		P3 人間の発達課題について			
第7回		R1 各発達段階の特徴について			
第8回		R1 各発達段階の特徴について			
第9回		R1 各発達段階の特徴について			
第10回		P4・P6 アセスメント・心理療法について			
第11回		P4・P6 アセスメント・心理療法について			
第12回		P5 対人関係の発展について			
第13回		P5 対人関係の発展について			
第14回		期末対策			
第15回		期末試験			
第16回		科目終了試験			
成績評価	出席率	30点	75%以上の出席を必須とする。		
	期末試験	30点			
	授業内評価	40点	・レポート提出期限を守れた場合は、加点します。 ・備考に書かれているものを守れているか。		
備考		授業には積極的に参加し、理解し考えようとする力・姿勢を身につけてください。 授業中の居眠り、私語、飲食、携帯電話の使用は厳禁です。 何度注意しても直らない場合は、受講は認めず退出していただきます。			

(講義)		科目名:ジェンダー論		講師: 佐橋寿実	
科目概要・目標		現代社会では性別役割の境目が不明瞭になってきている。どこまでが生物学的に決定された性であり、どこまでが社会的に規定された性(ジェンダー)であるかは、今後の社会を考える上で大きな問題となりうる。他の先進国における今日の男女間における価値観やライフスタイル(結婚、出産育児、労働問題など)と比較しながら、日本社会の今後の変遷を予測し、望ましい社会様式を模索する。また、ゲイなどのマイノリティのセクシャリティー問題や、シングルマザーなどの人々の問題にもアプローチを試みる。			
教科書		なし。授業中に適宜紹介する。			
提出課題	レポート設題1	性差別と性の役割について述べよ。			
	学修のポイント1	ジェンダーについて			
	学修のポイント2	フェミニズム運動について			
	学修のポイント3	女性の労働について			
	学修のポイント4	近代家族と性役割について			
	学修のポイント5	アイデンティティとジェンダーについて			
	学修のポイント6	ジェンダー政策について			
期末試験		後日発表する			
回数		授業内容			
第1回		ジェンダーを社会的視点からみるとは			
第2回		生物学的性差とジェンダー			
第3回		セクシュアリティとジェンダー(セクシャルマイノリティについて)			
第4回		文化の中のジェンダー(国や文化で変わるジェンダー観)			
第5回		歴史の中のジェンダー(時代によって変わるジェンダー観)			
第6回		「女らしさ」「男らしさ」(ジェンダーの形成と諸問題)			
第7回		性差別とジェンダー(ジェンダー・バイアス、性差別撤廃への動き)			
第8回		レポート作成日			
第9回		家族の中のジェンダー(戦後の変容する家族、家族問題)			
第10回		労働とジェンダー(男女間格差、男性の長時間労働など)			
第11回		ハラスメント問題とジェンダー			
第12回		教育とジェンダー			
第13回		セクシュアリティと政策			
第14回		ジェンダー政策のゆくえ			
第15回		期末試験			
第16回		科目終了試験			
成績評価	出席率	30点	75%以上の出席を必須とする。		
	期末試験	30点	持ち込み可。論述式。		
	授業内評価	20点	提出物(学修のポイント3本、レポート下書き1本)期限厳守。遅れた場合は減点。		
		5点	グループワーク		
15点		授業態度(態度、発言、コメントシートの記入等から判断する)			
備考		参考文献:伊藤公雄『新訂 ジェンダーの社会学』放送大学振興会			

(講義)	科目名:地域コミュニケーションワーク		担当: 山田 哲史
科目概要・目標	本科目は、問題発見能力、問題解決能力を実践を通して深めていくことを目的としている。学生ひとり一人が目的意識を持ち、互いに支え合いながら課題解決に取り組むことで学生間の意思疎通を図り、コミュニケーション能力を高めることを期待する。		
教科書	適宜配布		
期末試験	授業時に通知する。		
回数	授業内容		
第1回	心の元気づくりについて		
第2回	レクリエーション支援におけるホスピタリティについて		
第3回	人が物事に夢中になる仕組みについて		
第4回	活動そのものの楽しさについて		
第5回	達成感からもたらされる楽しさについて		
第6回	対象者との意思疎通を促進する方法について		
第7回	成功体験を楽しむ方法について		
第8回	対象者の相互作用を促進するコミュニケーション技術の活用方法について		
第9回	アイスブレイキングについて		
第10回	アイスブレイキングが必要な場面について		
第11回	CSSプロセスについて		
第12回	プランの考案(1)		
第13回	プランの考案(2)		
第14回	プランの考案(3)		
第15回	プランの考案(4)		
第16回	プランの考案(5)		
成績評価	30点	75%以上の出席を必須とする。	
	20点	この授業は後期まで延長して実施しますので、後期に実施予定です。詳細は後ほど案内します。	
	30点	評価ポイント:活動への取り組み状況	
	20点	評価ポイント:授業態度・学習意欲・積極性・忘れ物有無	
備考	本授業は、進行状況によってはシラバスに変更が生じる可能性があります。より良いワークのためには受講生同士の協力が不可欠です。より良い学びとなるように自ら学ぼうとする姿勢を持って授業に臨んでください。この授業は後期の学園祭終了後まで継続します。		

(講義)		科目名:専門研究Ⅰ(児童心理学入門)		講師: 木村 洋太	
科目概要・目標	本授業は、発達心理学の観点から乳幼児期の発達を捉える視点を学ぶ。具体的に、各年齢ごとの子どもの発達の理解を目指す。ビデオを多用し、子どものリアルな姿を観察し、理解を深める。また、各発達段階における運動・言語・自己理解・社会性などにも触れていく。また心理学を学ぶ初年度ということもあり、心理学とは何か、から始まり、基本的な心の仕組みや働き、ケアの視点について分かりやすく解説していく				
教科書	教科書は指定せず、講義レジュメと参考資料を配布する。参考文献は授業中に適宜紹介する。				
期末試験					
回数	授業内容				
第1回	オリエンテーション 心理学とは				
第2回	複雑な心を理解するために① 意識と無意識				
第3回	複雑な心を理解するために② エロスとタナトス ③PSとDポジション				
第4回	きいてもらうところが楽になるわけ(コンテイニング理論)				
第5回	話を聞くために(実践)				
第6回	発達心理学とは:発達段階の理解				
第7回	0歳児の運動発達				
第8回	0歳児のコミュニケーション				
第9回	1歳児のつもりの世界と自我の芽生え				
第10回	2歳児:表象の発達				
第11回	2歳児の自我 イヤイヤ期の理解と対応				
第12回	3歳児の発達				
第13回	4歳児の発達				
第14回	5歳児の発達				
第15回	期末の準備				
第16回	期末試験				
成績評価	出席率	30点	75%以上の出席を必須とする。		
	期末試験	30点	論述式。持ち込み可。		
	授業内評価	40点	毎授業提出するワークシート、授業の参加姿勢などを総合的に評価する。		
備考(メッセージ)		レポートがありませんので、出席、授業姿勢などを重要視します。			

(講義)		科目名:人体の構造と機能及び疾病		講師: 戎 弘志	
科目概要・目標	この講義は、医学の総合社会科学としての側面についても触れ、生活の質(QOL)を豊かにする保健・医療・福祉・心理のあり方についても学び、福祉専門職者・心理専門職者として要求される最低限の医療、医学の知識の習得を目標とする。さらに、最新の健康情報の検証も行う。 具体的には、 ●心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害の概要について、人の成長・発達・老化や日常生活との関係を踏まえて理解する。 ●生活習慣病とその予防について、健康増進の正しい方策について理解する。 ●国際生活機能分類(ICF)の基本的考え方と概要について理解する。 ●リハビリテーションの概要について理解する。				
教科書		一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集 『最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座【共通科目】1 医学概論』中央法規			
提出課題	レポート設題1	認知症について述べよ。 ＜ポイント＞ 認知症の原因と症状と経過、ICD-10診断について説明し、認知症の下位分類とその症状の特徴について述べる。また認知症の鑑別診断についても述べる。治療(薬物療法および非薬物療法)について論じること。			
	学修のポイント1	生活習慣病と未病について			
	学修のポイント2	悪性腫瘍について			
	学修のポイント3	骨・関節疾患について			
	学修のポイント4	感染症について			
	学修のポイント5	先天性障害について			
	学修のポイント6	老化に伴う心身機能の変化について			
期末試験		後日発表			
回数		授業内容			
第1回		イントロダクション:命と医学・医療、医学、医療の歴史			
第2回		心身機能と身体構造①呼吸器、循環器			
第3回		心身機能と身体構造②消化器、泌尿器			
第4回		心身機能と身体構造③骨格系、筋系			
第5回		心身機能と身体構造④神経、内分泌、生殖器、皮膚感覚			
第6回		疾病と障害①生活習慣病			
第7回		疾病と障害②先天性疾患、発達障害			
第8回		疾病と障害③感染症とその対策			
第9回		疾病と障害④精神障害、高次脳機能障害			
第10回		疾病と障害⑤加齢と老化			
第11回		疾病と障害⑥老化性疾患(骨粗鬆症など)			
第12回		疾病と障害⑦ストレス性疾患、免疫異常			
第13回		日本人の健康状態と寿命:人口現状と将来人口予測			
第14回		公衆衛生、保健医療の観点から人々の健康への影響			
第15回		期末試験			
第16回		科目終了試験			
成績評価	出席率	30点	75%以上の出席を必須とする。		
	期末試験	50点	持ち込み:不可(記述及び論述)		
	授業内評価	20点	設題は 締切までに作成したか、十分考察されているかで判断する。		
			学習意欲、提出期限、授業中の態度等、総合的に評価する。		
備考		パワーポイント使用 (参考文献) 授業中適宜配布 遅刻、欠席、私語、居眠り、スマートフォン使用厳禁			

講義	科目名:文章表現		講師:仁井田 和也
科目概要・目標	通信教育では、レポートを書くための表現力が要求される。本科目では、レポート作成に必要な「書く」技術の基礎訓練を行う。したがって、目標とされるのは、簡潔で明快な表現法である。 文法・文字表記の正しさ、語彙選択の適切さ・わかりやすさ、文章構成の明確さ、論理の一貫性などに重点をおいて学習していく。		
教科書		随時資料を配布する	
提出課題	レポート設題 1	高齢者の介護は誰が担うべきか述べてよ	
		このレポートは文章表現に関する論文であるから、特に論点を明確にして段落や文章校正に気を配りながら文章を書くこと。また、わかりやすい言葉で文法・文字表現などにも十分留意して書くこと。	
	学修のポイント1	「バリアフリー」と町の景観について	各テーマで、自分の主張を絞り、構成を十分に考えてから作成に取り組むこと。一般論に止まらず、自分の主張を裏付けする情報などを引用することで、自分の主張に説得力を持たせるようにする。また、論理展開として、主張に一貫性があるかにも気を付けて書き、終わったら必ず読み返して、自己点検することも忘れないこと。
	学修のポイント2	少年犯罪について	
	学修のポイント3	IT社会化について	
	学修のポイント4	環境破壊について	
	学修のポイント5	リサイクルについて	
	学修のポイント6	高齢者介護について	
期末試験		後日発表	
回数		授業内容	
1		オリエンテーション	作文・レポート・論文の違いについて
2		レポートの表現について	
3		IT社会化について	
4		「バリアフリー」と町の景観について	
5		高齢者の介護は誰が担うべきか	コースによってテーマが異なる
6			
7			
8			
9		少年犯罪について	
10		文献の探し方について	
11		環境破壊について	
12		リサイクルについて	
13		幸福の哲学について	
14		期末試験対策	
15		期末試験	
16		科目修了試験	
成績評価	出席率	30点	75%以上の出席を必須とする。
	期末試験	40点	持ち込み可。論述式。
	授業内評価	30点	授業態度、提出物などによって評価する。
備考		授業中の居眠り、私語、許可のない携帯電話の使用、音楽等の聴取、その他授業に臨む上で不適切な態度が見受けられた場合には、減点評価する。	

社会福祉学科

心理学コース

1年生

(講義)		科目名:法学概論		講師: 森奈祐	
科目概要・目標		社会福祉の専門家には、憲法第25条に定める生存権の保障を実現するため、様々な社会保障、社会福祉諸制度やそれにかかわる行政機関への手続きのための知識が必要である。そのため、憲法、民法、行政法の基礎知識を習得することは必要である。 この科目では、それらの学修に先立っていわゆる法学入門に相当する法や法学一般について学び、研究する。			
教科書		プリント配布			
提出課題	レポート設題1	基本的人権の尊重について述べよ			
	学修のポイント1	教育を受ける権利と義務について			
	学修のポイント2	親権について			
	学修のポイント3	契約の自由について			
	学修のポイント4	罪刑法定主義について			
	学修のポイント5	法の種類について			
	学修のポイント6	法の段階構造について			
期末試験		後日発表			
回数		授業内容			
第1回		オリエンテーション、法と道徳、法の種類、法の段階構造			
第2回		近代市民法原理について			
第3回		契約の自由について			
第4回		憲法について			
第5回		基本的人権の尊重について①			
第6回		基本的人権の尊重について②			
第7回		刑法について			
第8回		罪刑法定主義について			
第9回		民法について①(総則・物権)			
第10回		民法について②(債権)			
第11回		親権について			
第12回		親族・相続について			
第13回		行政法について			
第14回		労働法について			
第15回		期末試験			
第16回		科目修了試験			
成績評価	出席率	30点	75%以上の出席を必須とする。		
	期末試験	30点			
	授業内評価	40点	授業態度、グループワーク等への参加、授業中の発言等・積極性、提出物期限を評価する。		
備考		授業中の居眠り、スマートフォン等の無断使用、授業内容に関係ない行為、その他授業に臨む上で不適切な態度が見受けられた場合は減点評価とします。			

(実技)		科目名:情報処理基礎演習Ⅰ		講師:高橋直子	
科目概要・目標	Wordを使って、文字入力の練習と いろいろな文書作成およびグラフィカルな文書を作成できるようにする。				
教科書		なし(毎回授業で使用するプリントを配布する)			
期末試験		実技試験(1枚の文書を作成し保存する。)			
回数		授業内容			
第1回		文字の入力と簡単な文書を作成			
第2回		定型文書の作成			
第3回		レポートや報告書の作成			
第4回		復習			
第5回		表作成の練習			
第6回		表のある文書の作成			
第7回		複雑な表のある文書の作成			
第8回		画像などを利用した文書の作成			
第9回		図形などを利用した文書の作成			
第10回		簡単な地図のある文書の作成			
第11回		SmartArtなどを利用した文書の作成			
第12回		縦書き文書の作成			
第13回		横置き文書の作成			
第14回		復習			
第15回		復習(期末試験対策)			
第16回		期末試験			
成績評価	出席率	30点	75%以上の出席を必須とする。		
	期末試験	40点			
	授業内評価	30点	毎回授業で行う課題作成などを含めた授業態度		
備考		飲食厳禁、私語厳禁、携帯電話などの使用禁止			

(講義)	科目名:福祉と教育		講師: 山田哲史
科目概要・目標	東京福祉大学は「理論的・科学的能力と実践的能力を統合し、柔軟な思考力と問題発見・解決能力のある人材を育成する」ことを建学の理念としている。この精神の下、学生が主体となった教育の基礎である「読み、書き」を鍛錬する。福祉、教育、保育、心理、医療などを学ぶ基礎的な力を身に付けることを目指すとともに、社会における様々な課題に理解を深め、現代で新たに求められている能力とは何かを探究する。本講義では現代社会の諸問題を題材として「読み、書き」のトレーニングおよび教科書の「ワーク」を活用した考察を行う。「ワーク」でグループ活動が設定されている際は自身で調べ、考察し、文章にまとめる。		
教科書		必要箇所を授業時に配付します。(『基礎ゼミ 社会福祉学』世界思想社)	
提出課題	レポート設題1	教科書と「ワーク」を通して学んだこと、及び社会福祉を学ぶことの意義について述べよ。	
	学修のポイント1	社会的排除について	
	学修のポイント2	子どもの貧困について	
	学修のポイント3	子どもの保護について	
	学修のポイント4	多文化共生社会について	
	学修のポイント5	コンパクトシティについて	
	学修のポイント6	性的マイノリティについて	
期末試験		(授業時に指示します。)	
回数		授業内容	
第1回		「福祉と教育」を学ぶ意義について	
第2回		社会的排除について	
第3回		「生きづらさ」について	
第4回		子どもの貧困について	
第5回		周縁化集落について	
第6回		コンパクトシティについて	
第7回		社会的養護について	
第8回		子どもの保護について	
第9回		性的マイノリティについて	
第10回		優生思想について	
第11回		人身取引について	
第12回		認知症について	
第13回		「福祉と教育」をめぐって(1)	
第14回		「福祉と教育」をめぐって(2)	
第15回		期末試験	
第16回		科目終了試験	
成績評価	出席率	30点	75%以上の出席を必須とする。
	期末試験	30点	持込み許可物件:指定の教科書、自筆のノート、授業時に配布のプリント
	授業内評価	20点	授業中態度:携帯、居眠り、私語、飲食は厳禁
		20点	課題提出状況
備考		教育の効果を高めるためにも、授業には集中力を持続して積極的に取り組むようにしてください。授業中の携帯電話の使用、居眠り、飲食や私語は禁止します。これらのルールを守ることができない学生に対しては不合格とすることがありますので注意してください。	

(実技)		科目名:フィールドワークⅠ		講師: 田本佳寿美・仁井田和也	
科目概要・目標	社会福祉学を学ぶために、当科目では福祉とはどのようなものかのイメージをもてるようになること目的とする。まず、保健・医療・福祉の概要を学び、福祉の位置づけを確認する。次に、多様な考え方や形があり、多くの専門職の活躍からも成り立つ福祉とはどのようなものを、自ら情報を得ようとし、グループワークを通して多角的な視点でそれらをまとめることとする。さらに、フィールドワーク(外部研修)を通して、実践の現場に触れる機会を持ち、講義などで学んだものにイメージを付けていくことを目指す。				
	教科書	配布資料を基に学習を進める			
期末試験	後日連絡				
回数	授業内容				
第1回	オリエンテーション、グループワーク				
第2回	認知症サポーター養成講座				
第3回	精神保健福祉士、精神障害について				
第4回	スクールカウンセラーについて				
第5回	児童発達支援について				
第6回	障害者就労移行支援について				
第7回	就労移行支援 施設見学 2グループに分ける				
第8回	たこ焼きパーティの企画、デイサービスについて				
第9回	たこ焼きパーティ(デイサービス楽人千種 見学)				
第10回	たこ焼きパーティ(デイサービス楽人千種 見学)				
第11回	たこ焼きパーティ(デイサービス楽人千種 見学)				
第12回	高齢者				
第13回	一般企業				
第14回	児童				
第15回	高齢者				
第16回	期末試験				
成績評価	出席率	30点	75%以上の出席を必須とする。		
	期末試験	30点			
	授業内評価	40点	授業態度、グループワーク等への参加・発言・積極性、提出物の内容、提出期限を評価		
備考	授業中の居眠り、スマートフォン等の無断使用、授業内容に関係ない行為、その他授業に臨む上で不適切な態度が見受けられた場合は減点評価とします。				

(講義)	科目名:アメリカの文化と言語 I		講師: 米田尚美
科目概要・目標	これからの国際社会に対応していくためには世界的公用語である英語でのコミュニケーション能力が必要である。高校までの暗記を中心とした受験英語とは違い、表現力を重視した、読む・書く・聞く・話す、の四技能を養い、実用的な英語を使いこなすためには、日本語とは異なる英語の言語学的特徴(発音・文法・語法等)を理解することが大切である。また、英語という言葉の背景にある、主にアメリカを中心とした英語圏の文化の理解にも重点を置く。		
教科書	ピーター・セラフィン、根間弘海 “Twenty American Heroes” 三修社、2017年		
提出課題	設題	8章「Martin Luther King, Jr.」について日本語で要約せよ。さらに、内容についてあなたの考えを述べよ。	
		＜ポイント＞公民権運動とは1950年代のアメリカにおいて、黒人を中心に始められた人種差別撤廃運動である。Martin Luther King, Jr.はアメリカにおける人種差別において、公民権運動の指導者としてどのように貢献したか。また、彼の掲げた「非暴力」そして、不朽の名演説「私には夢がある(I Have A Dream)」は、人々にどのようなメッセージを投げかけたのか。Martin Luther King, Jr.の思想が人種差別思想や米国憲法修正に与えた影響について考察すること。	
	学修のポイント1	英文を日本語で要約せよ。さらに、Elvis Presleyに対するあなたの印象を述べよ。 ＜ポイント＞当時のアメリカの社会状況をよく理解した上で、音楽史上におけるプレスリーのロックン・ロールの位置づけを考察する。また、あまりに早い最期を遂げたプレスリーの「有名人の孤独」についても考える。	
	学修のポイント2	英文を日本語で要約せよ。さらに、Steven Spielbergの作品の一つ挙げてあなたの印象を述べよ。 ＜ポイント＞スピルバーグの人となり、彼の映画製作に向かう姿勢を理解し、具体的に説明できるよう理解を深める。単純な映画の感想文に陥らないようにすること。	
	学修のポイント3	英文を日本語で要約せよ。さらに、Gatesに対するあなたの印象を述べよ。 ＜ポイント＞現在のIT社会を築き上げた功労者であり、また新しい問題点を作り出した人物でもある。パソコンとインターネットの普及から派生する諸問題に対する解決策、対応策を考えるとよい。	
期末試験	後日発表		
回数	授業内容		授業目標
第1回	オリエンテーション		当時のアメリカの時代背景を理解した上でElvis Presleyの生い立ちや音楽性を理解する。
第2回	学修のポイント 1 作成		
第3回	Elvis Presleyについて		
第4回	レポート作成指導 キング牧師について		黒人差別が起こった背景を理解した上で公民権運動(人種差別撤廃運動)について理解する。“I Have A Dream”のスピーチにおいて、キング牧師が何を伝えたかったのかを理解する。
第5回			
第6回			
第7回	学修のポイント 2 作成 Steven Spielbergについて		Steven Spielbergの作品に描かれている“Childlike”とは何かを理解する。
第8回			
第9回			
第10回	学修のポイント 3 Bill Gatesについて		Bill Gatesの功績をふまえた上で、メディアリテラシーについても理解を深める。
第11回			
第12回	まとめ		
第13回			
第14回	期末試験対策		
第15回	期末試験		
第16回	科目終了試験		
成績評価	30点	75%以上の出席を必須とする。	
	30点	持込み不可(教科書の内容理解を問う問題を中心とする予定)	
	20点	評価ポイント:提出物(下書きレポート・清書レポート・学修のポイント2本)の内容・提出期限を守れたか ※遅れた場合は減点	
	20点	評価ポイント:授業態度・忘れ物・授業前課題・授業内課題	
備考	本授業は英文読解とその要約が中心です。授業についていくためにも各自予習復習を行うこと。		

(講義)		科目名:社会福祉入門		講師: 小澤登生男	
科目概要・目標	少子高齢化の進むわが国は、ますます福祉重視型の社会をめざしている。これから社会福祉に関わる仕事をめざす学生のために、福祉の基本や福祉に関連する職業にはどのようなものがあるのか、社会的に見て福祉とは何か、そして、福祉の職業に従事するためにはどのような資格があるのか、各々の福祉領域で必要不可欠な能力とは何か等を学修する。また同時に、これまでの福祉理念の変遷を概観し、急速に変化していく現代社会における、これからの福祉のあり方についても考える。				
教科書		立花直樹・波田埜英治・家高将明・中典子 編著 『最新・はじめて学ぶ社会福祉 4 社会福祉 原理と政策』ミネルヴァ書房			
提出課題	レポート設題 1	福祉サービスの利用者を支えるためのしくみが定められた背景とそのしくみの概要について述べて。			
	学修のポイント①	わが国の社会福祉法制について			
	学修のポイント②	わが国の社会保障制度の体系について			
	学修のポイント③	わが国の社会福祉行財政について			
	学修のポイント④	社会福祉を支える原理について			
	学修のポイント⑤	わが国における貧困をめぐる現状について			
	学修のポイント⑥	地域福祉の意義とその担い手について			
期末試験		後日発表			
回数		授業内容			
第1回		学修のポイント①わが国の社会福祉法制について			
第2回		学修のポイント⑤わが国における貧困をめぐる現状について			
第3回		学修のポイント⑥地域福祉の意義とその担い手について			
第4回		福祉サービスの利用者を支えるためのしくみ①			
第5回		福祉サービスの利用者を支えるためのしくみ②			
第6回		福祉サービスの利用者を支えるためのしくみ③			
第7回		学修のポイント③わが国の社会福祉行財政について			
第8回		学修のポイント④社会福祉を支える原理について			
第9回		学修のポイント②わが国における社会保障制度の体系について			
第10回		わが国の高齢者福祉について①			
第11回		わが国の高齢者福祉について②			
第12回		バリアフリーとユニバーサルデザイン①			
第13回		バリアフリーとユニバーサルデザイン②			
第14回		期末試験対策			
第15回		期末試験			
第16回		科目終了試験			
成績評価	出席率	30点	75%以上の出席を必須とする。		
	期末試験	20点			
	授業内評価	30点	課題提出期限が遅れたら減点 1回5点		
		20点	積極的な授業参加・態度		
備考		学びの場です。遅刻・欠席をせずに主体的に学修してください。			

(講義)		科目名： 心理学概論		講師： 富田健太	
科目概要・目標	現代社会が抱えるさまざまな問題と心理学の観点からアプローチできるようここでは心理学全体を見渡すことを目的とする。そこで、心理学とは何か、から始まり、心理学分野を「心の仕組み」、「心の問題を紐解く」、「心のケアと支援」、という3つの大きな領域から考え、心理学の成り立ち、人の心の基本的な仕組み及び働きについて学修していく。本科目を学ぶことで、心理学とはどのような学問か、その体系を知ることができ、かつ考え方が理解できる。				
教科書		一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集 『最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座【共通科目】2 心理学と心理的支援』中央法規			
提出課題	レポート設題1	人格の諸理論について記述する			
	学修のポイント1	人格の諸理論について			
	学修のポイント2	人間の感覚・知覚・認知の特質について			
	学修のポイント3	人間の発達課題について			
	学修のポイント4	心理学的アセスメント(見立て)について			
	学修のポイント5	対人関係の発展について			
	学修のポイント6	心理療法について			
期末試験		後日発表			
回数		授業内容			
第1回		オリエンテーション/P1 人格の諸理論について			
第2回		P1 人格の諸理論について			
第3回		P1 人格の諸理論について 作成			
第4回		P3 人間の発達課題について			
第5回		P3 人間の発達課題について			
第6回		P3 人間の発達課題について			
第7回		R1 各発達段階の特徴について			
第8回		R1 各発達段階の特徴について			
第9回		R1 各発達段階の特徴について			
第10回		P4・P6 アセスメント・心理療法について			
第11回		P4・P6 アセスメント・心理療法について			
第12回		P5 対人関係の発展について			
第13回		P5 対人関係の発展について			
第14回		期末対策			
第15回		期末試験			
第16回		科目終了試験			
成績評価	出席率	30点	75%以上の出席を必須とする。		
	期末試験	30点			
	授業内評価	40点	・レポート提出期限を守れた場合は、加点します。 ・備考に書かれているものを守れているか。		
備考		授業には積極的に参加し、理解し考えようとする力・姿勢を身につけてください。 授業中の居眠り、私語、飲食、携帯電話の使用は厳禁です。 何度注意しても直らない場合は、受講は認めず退出していただきます。			

(講義)		科目名:ジェンダー論		講師: 佐橋寿実	
科目概要・目標		現代社会では性別役割の境目が不明瞭になってきている。どこまでが生物学的に決定された性であり、どこまでが社会的に規定された性(ジェンダー)であるかは、今後の社会を考える上で大きな問題となりうる。他の先進国における今日の男女間における価値観やライフスタイル(結婚、出産育児、労働問題など)と比較しながら、日本社会の今後の変遷を予測し、望ましい社会様式を模索する。また、ゲイなどのマイノリティのセクシャリティー問題や、シングルマザーなどの人々の問題にもアプローチを試みる。			
教科書		なし。授業中に適宜紹介する。			
提出課題	レポート設題1	性差別と性の役割について述べよ。			
	学修のポイント1	ジェンダーについて			
	学修のポイント2	フェミニズム運動について			
	学修のポイント3	女性の労働について			
	学修のポイント4	近代家族と性役割について			
	学修のポイント5	アイデンティティとジェンダーについて			
	学修のポイント6	ジェンダー政策について			
期末試験		後日発表する			
回数		授業内容			
第1回		ジェンダーを社会学的視点からみるとは			
第2回		生物学的性差とジェンダー			
第3回		セクシュアリティとジェンダー(セクシャルマイノリティについて)			
第4回		文化の中のジェンダー(国や文化で変わるジェンダー観)			
第5回		歴史の中のジェンダー(時代よって変わるジェンダー観)			
第6回		「女らしさ」「男らしさ」(ジェンダーの形成と諸問題)			
第7回		性差別とジェンダー(ジェンダー・バイアス、性差別撤廃への動き)			
第8回		レポート作成日			
第9回		家族の中のジェンダー(戦後の変容する家族、家族問題)			
第10回		労働とジェンダー(男女間格差、男性の長時間労働など)			
第11回		ハラスメント問題とジェンダー			
第12回		教育とジェンダー			
第13回		セクシュアリティと政策			
第14回		ジェンダー政策のゆくえ			
第15回		期末試験			
第16回		科目終了試験			
成績評価	出席率	30点	75%以上の出席を必須とする。		
	期末試験	30点	持ち込み可。論述式。		
	授業内評価	20点	提出物(学修のポイント3本、レポート下書き1本)期限厳守。遅れた場合は減点。		
		5点	グループワーク		
		15点	授業態度(態度、発言、コメントシートの記入等から判断する)		
備考		参考文献:伊藤公雄『新訂 ジェンダーの社会学』放送大学振興会			

(講義)		科目名:統計学		講師: 室山俊浩	
科目概要・目標	統計学と言っても本科目の内容は単なる公式の暗記のみにはとどまらない。私たちの生活の中にはさまざまな統計情報があふれている。この統計情報からどのように意味のある情報を引き出すか、さらに世の中に対してそれをどのように活かしていくかが重要である。本科目では、そのことを視野に入れつつ、統計学の基本的な事項をおさえ、将来自分でデータの収集と分析ができるような基礎を作っていく。				
教科書		小島實之『完全独習 統計学入門』ダイヤモンド社			
提出課題	レポート設題1	統計とは何かについて説明し、それを活用することの利点と注意点について述べよ。			
	レポート設題2				
	学修のポイント1	ヒストグラムについて			
	学修のポイント2	質的変数と量的変数について			
	学修のポイント3	標準偏差の利用方法について			
	学修のポイント4	相関について			
	学修のポイント5	正規分布について			
	学修のポイント6	偏差値について			
期末試験		後日通知する			
回数		授業内容			
第1回		オリエンテーション / 統計とはなにか			
第2回		統計を活用することの利点			
第3回		統計を活用することの注意点			
第4回		学修のポイント1 ヒストグラムについて			
第5回		平均値、中央値、最頻値について			
第6回		学修のポイント3 標準偏差の利用方法について			
第7回		学修のポイント4 相関について			
第8回		学修のポイント2 質的変数と量的変数について			
第9回		学修のポイント5 正規分布について			
第10回		学修のポイント6 偏差値について			
第11回		有意性の判断(仮説検定)			
第12回		回帰と予測			
第13回		分析方法			
第14回		期末試験対策			
第15回		期末試験			
第16回		科目終了試験			
成績評価	出席率	30点	75%以上の出席を必須とする。		
	期末試験	40点	持ち込み可。論述式		
	授業内評価	30点	授業内課題。		
備考		提出物の締切は厳守すること。遅れた日数に応じて減点。 授業中の私語、飲食、携帯電話の使用は厳禁。 無断の座席移動も禁止。			

(講義)	科目名:地域コミュニケーションワーク		担当: 山田 哲史
科目概要・ 目標	本科目は、問題発見能力、問題解決能力を実践を通して深めていくことを目的としている。学生ひとり一人が目的意識を持ち、互いに支え合いながら課題解決に取り組むことで学生間の意思疎通を図り、コミュニケーション能力を高めることを期待する。		
教科書	適宜配布		
期末試験	授業時に通知する。		
回数	授業内容		
第1回	心の元気づくりについて		
第2回	レクリエーション支援におけるホスピタリティについて		
第3回	人が物事に夢中になる仕組みについて		
第4回	活動そのものの楽しさについて		
第5回	達成感からもたらされる楽しさについて		
第6回	対象者との意思疎通を促進する方法について		
第7回	成功体験を楽しむ方法について		
第8回	対象者の相互作用を促進するコミュニケーション技術の活用方法について		
第9回	アイスブレイキングについて		
第10回	アイスブレイキングが必要な場面について		
第11回	CSSプロセスについて		
第12回	プランの考案(1)		
第13回	プランの考案(2)		
第14回	プランの考案(3)		
第15回	プランの考案(4)		
第16回	プランの考案(5)		
成績評価	30点	75%以上の出席を必須とする。	
	20点	この授業は後期まで延長して実施しますので、後期に実施予定です。詳細は後ほど案内します。	
	30点	評価ポイント:活動への取り組み状況	
	20点	評価ポイント:授業態度・学習意欲・積極性・忘れ物有無	
備考	本授業は、進行状況によってはシラバスに変更が生じる可能性があります。より良いワークのためには受講生同士の協力が不可欠です。より良い学びとなるように自ら学ぼうとする姿勢を持って授業に臨んでください。この授業は後期の学園祭終了後まで継続します。		

(講義)		科目名:専門研究Ⅰ(児童心理学入門)		講師: 木村 洋太	
科目概要・目標	本授業は、発達心理学の観点から乳幼児期の発達を捉える視点を学ぶ。具体的に、各年齢ごとの子どもの発達の理解を目指す。ビデオを多用し、子どものリアルな姿を観察し、理解を深める。また、各発達段階における運動・言語・自己理解・社会性などにも触れていく。また心理学を学ぶ初年度ということもあり、心理学とは何か、から始まり、基本的な心の仕組みや働き、ケアの視点について分かりやすく解説していく				
教科書	教科書は指定せず、講義レジュメと参考資料を配布する。 参考文献は授業中に適宜紹介する。				
期末試験					
回数	授業内容				
第1回	オリエンテーション 心理学とは				
第2回	複雑な心を理解するために① 意識と無意識				
第3回	複雑な心を理解するために② エロスとタナトス ③PSとDポジション				
第4回	きいてもらうところが楽になるわけ(コンテイング理論)				
第5回	話を聞くために(実践)				
第6回	発達心理学とは:発達段階の理解				
第7回	0歳児の運動発達				
第8回	0歳児のコミュニケーション				
第9回	1歳児のつもりの世界と自我の芽生え				
第10回	2歳児:表象の発達				
第11回	2歳児の自我 イヤイヤ期の理解と対応				
第12回	3歳児の発達				
第13回	4歳児の発達				
第14回	5歳児の発達				
第15回	期末の準備				
第16回	期末試験				
成績評価	出席率	30点	75%以上の出席を必須とする。		
	期末試験	30点	論述式。持ち込み可。		
	授業内評価	40点	毎授業提出するワークシート、授業の参加姿勢などを総合的に評価する。		
備考(メッセージ)		レポートがありませんので、出席、授業姿勢などを重要視します。			

(講義)		科目名:人体の構造と機能及び疾病		講師: 戎 弘志	
科目概要・目標	この講義は、医学の総合社会科学としての側面についても触れ、生活の質(QOL)を豊かにする保健・医療・福祉・心理のあり方についても学び、福祉専門職者・心理専門職者として要求される最低限の医療、医学の知識の習得を目標とする。さらに、最新の健康情報の検証も行う。 具体的には、 ●心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害の概要について、人の成長・発達・老化や日常生活との関係を踏まえて理解する。 ●生活習慣病とその予防について、健康増進の正しい方策について理解する。 ●国際生活機能分類(ICF)の基本的考え方と概要について理解する。 ●リハビリテーションの概要について理解する。				
教科書		一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集 『最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座【共通科目】1 医学概論』中央法規			
提出課題	レポート設題1	認知症について述べよ。 ＜ポイント＞ 認知症の原因と症状と経過、ICD-10診断について説明し、認知症の下位分類とその症状の特徴について述べる。また認知症の鑑別診断についても述べる。治療(薬物療法および非薬物療法)について論じること。			
	学修のポイント1	生活習慣病と未病について			
	学修のポイント2	悪性腫瘍について			
	学修のポイント3	骨・関節疾患について			
	学修のポイント4	感染症について			
	学修のポイント5	先天性障害について			
	学修のポイント6	老化に伴う心身機能の変化について			
期末試験		後日発表			
回数		授業内容			
第1回		イントロダクション:命と医学・医療、医学、医療の歴史			
第2回		心身機能と身体構造①呼吸器、循環器			
第3回		心身機能と身体構造②消化器、泌尿器			
第4回		心身機能と身体構造③骨格系、筋系			
第5回		心身機能と身体構造④神経、内分泌、生殖器、皮膚感覚			
第6回		疾病と障害①生活習慣病			
第7回		疾病と障害②先天性疾患、発達障害			
第8回		疾病と障害③感染症とその対策			
第9回		疾病と障害④精神障害、高次脳機能障害			
第10回		疾病と障害⑤加齢と老化			
第11回		疾病と障害⑥老化性疾患(骨粗鬆症など)			
第12回		疾病と障害⑦ストレス性疾患、免疫異常			
第13回		日本人の健康状態と寿命:人口現状と将来人口予測			
第14回		公衆衛生、保健医療の観点から人々の健康への影響			
第15回		期末試験			
第16回		科目終了試験			
成績評価	出席率	30点	75%以上の出席を必須とする。		
	期末試験	50点	持ち込み:不可(記述及び論述)		
	授業内評価	20点	設題は 締切までに作成したか、十分考察されているかで判断する。		
			学習意欲、提出期限、授業中の態度等、総合的に評価する。		
備考		パワーポイント使用 (参考文献) 授業中適宜配布 遅刻、欠席、私語、居眠り、スマートフォン使用厳禁			

講義	科目名:文章表現		講師:仁井田 和也
科目概要・目標	通信教育では、レポートを書くための表現力が要求される。本科目では、レポート作成に必要な「書く」技術の基礎訓練を行う。したがって、目標とされるのは、簡潔で明快な表現法である。 文法・文字表記の正しさ、語彙選択の適切さ・わかりやすさ、文章構成の明確さ、論理の一貫性などに重点をおいて学習していく。		
教科書		随時資料を配布する	
提出課題	レポート設題 1	高齢者の介護は誰が担うべきか述べよ	
		このレポートは文章表現に関する論文であるから、特に論点を明確にして段落や文章校正に気を配りながら文章を書くこと。また、わかりやすい言葉で文法・文字表現などにも十分留意して書くこと。	
	学修のポイント1	「バリアフリー」と町の景観について	各テーマで、自分の主張を絞り、構成を十分に考えてから作成に取り組むこと。一般論に止まらず、自分の主張を裏付けする情報などを引用することで、自分の主張に説得力を持たせるようにする。また、論理展開として、主張に一貫性があるかにも気を付けて書き、終わったら必ず読み返して、自己点検することも忘れないこと。
	学修のポイント2	少年犯罪について	
	学修のポイント3	IT社会化について	
	学修のポイント4	環境破壊について	
	学修のポイント5	リサイクルについて	
学修のポイント6	高齢者介護について		
期末試験		後日発表	
回数		授業内容	
1		オリエンテーション	作文・レポート・論文の違いについて
2		レポートの表現について	
3		IT社会化について	
4		「バリアフリー」と町の景観について	
5		高齢者の介護は誰が担うべきか	コースによってテーマが異なる
6			
7			
8			
9		少年犯罪について	
10		文献の探し方について	
11		環境破壊について	
12		リサイクルについて	
13		幸福の哲学について	
14		期末試験対策	
15		期末試験	
16		科目修了試験	
成績評価	出席率	30点	75%以上の出席を必須とする。
	期末試験	40点	持ち込み可。論述式。
	授業内評価	30点	授業態度、提出物などによって評価する。
備考		授業中の居眠り、私語、許可のない携帯電話の使用、音楽等の聴取、その他授業に臨む上で不適切な態度が見受けられた場合には、減点評価する。	